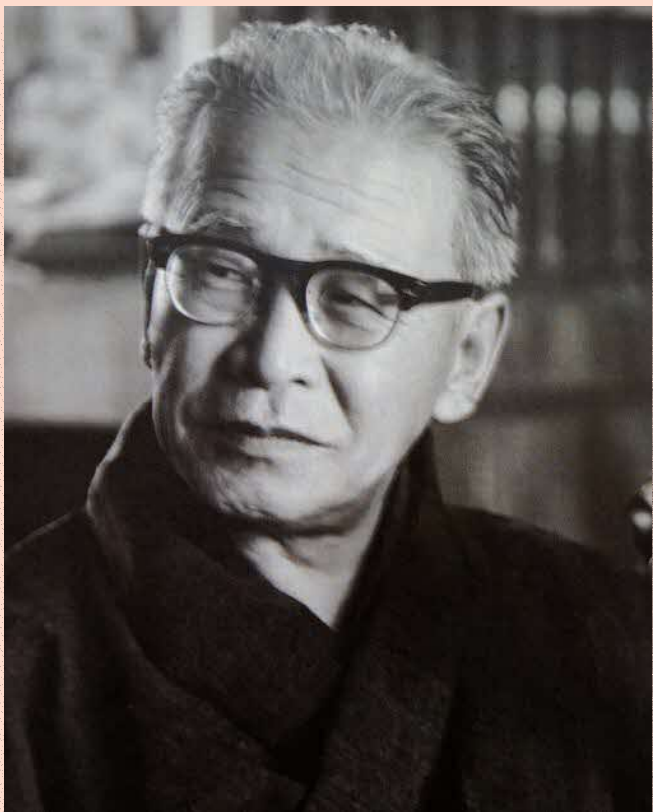


俳句

よこやまはっこう

# 横山白虹



長門市・下関市  
(1899～1983)

横山白虹は、明治三十二年、評論家・横山健堂の長子として東京で生まれた。九州大学医学部に進み外科医として北九州に横山病院開設。終戦後、小倉市議会議員となり、市議会議長などを務めた。また、齢七十を過ぎて全国的な俳人の集団「現代俳句協会」会長の任を担い、十一年間務めた。昭和初期「新興俳句九州の旗手」として活躍。昭和十一年、〈芸術は個性に立脚する〉〈新情緒主義〉を唱え、俳句誌『自鳴鐘』を創刊主宰。戦時休刊、昭和二十三年復刊、『自鳴鐘』と称した。文壇、俳壇、演劇、政界と知友も多彩で、単なる「俳壇」「地方文化」に閉じこもることのない広やかな世界を目指し、指導した。

(寺井谷子)

## 【主な著作】

句集『海堡』（沙羅書店、昭和13年）

句集『旅程』（現代俳句協会、昭和55年）

『横山白虹全句集』（沖積舎、昭和60年）